



労務コンプライアンス

Human resources (HR) Compliance



労務コンプライアンス

Human resources (HR) Compliance



一般社団法人 労務コンプライアンス協会 無料セミナー

定額残業代と働き方、
労務コンプライアンスとの関係について

2021年 7月 8日・20日 14:00 ~ 15:30 WEB開催 参加費無料

労務コンプライアンス協会設立の目的

労務問題で生じる社会の損失を失くしたい

労務コンプライアンス協会設立の目的

労務問題で生じる社会の損失を失くしたい



「労務」が経営にとって極めて重要な要素
であるという認識が当たり前、という
世の中を作りたい

労務コンプライアンス協会設立の目的

具体的には...

労務問題が理由で

- IPO（新規上場）ができない
- M&Aが成立しない
- 不幸な経営者や労働者を減らしたい
 - ・ ブラック経営者を少なくしたい
 - ・ プロ労働者を少なくしたい

労務コンプライアンス協会設立の目的

どうすれば実現できるか？

- ① 会社組織を大きくすることで実現を！
→ まだまだ足りない
- ② ノウハウをオープンにし、志を同じく
する方々と一緒にその世界を作っていく
→ オープン・シェア

私たちと労務コンプライアンスの歴史

2004年 中央青山PwCコンサルティング株式会社（現：みらいコンサルティング）

→ IPOブーム。どの監査法人も将来の監査契約をとるために、IPO支援を実施。ショートレビューの「差別化」が必要な時代。そこに「労務」の状況をレポート。

→ 時代背景も、未払い残業問題、名ばかり管理職問題がクローズアップされ、簿外債務のリスクや本業の正しい収益予測が立たないため、労務の審査が厳格に。

→ 以来17年間、対象会社としては1000社近くの調査と改善を実施。上場企業に絞れば、ここ10年は上場企業の10%から20%に関与。証券会社や取引所が気になるポイントのノウハウも蓄積。

→ 同じく、MAにおける労務DDの依頼も増加

労務コンプライアンスの将来予測

事業承継問題が社会課題に（2025年までに約60万社が黒字廃業の可能性）

- MA会社が活躍
- 主な選択肢は「継ぐ」か「MA」か「IPO」か「廃業」か
- 社会課題として、「廃業」は避けたい
- 廃業以外の場合、労務問題がきれいになっていないと成立しにくい
- 労務コンプライアンスが中堅企業から中小・零細企業にまで求められてくる
- 金融機関やMA会社、ファンド等、仕事を依頼したいのに、どこにお願いすればよいか分からない問題を解決したい

労務コンプライアンス協会設立の目的

労務問題で生じる社会の損失を失くしたい



「労務」が経営にとって極めて重要な要素
であるという認識が当たり前、という
世の中を作りたい

労務コンプライアンス協会設立の目的

是非、協会の取り組みを
ご理解いただければ幸いです。